

【 4期総合評価(分野ごとの改善割合) 】

資料6-1

評価	①健康寿命の延伸と健康格差の縮小	健康なひとづくり										健康なまちづくり			⑭食育推進(食育推進計画)	⑮自殺対策(自殺対策計画)	全体
		生活習慣の改善					生活習慣病の早期発見と重症化予防					⑪ソーシャルキャピタルの醸成(市民協働の健康づくり)	⑫次世代の健康	⑬地域医療分野			
②身体活動・運動分野	③喫煙対策分野	④飲酒分野	⑤こころ・休養分野	⑥歯・口腔の健康分野	⑦高齢者の健康分野	⑧がん	⑨高血圧・脂質異常症・糖尿病・慢性腎臓病(CKD)	⑩慢性閉塞性肺疾患(COPD)	⑪ソーシャルキャピタルの醸成(市民協働の健康づくり)	⑫次世代の健康	⑬地域医療分野	⑭食育推進(食育推進計画)	⑮自殺対策(自殺対策計画)	全体			
A 目標値に達成した	0	1	0	0	0	1	2	0	4	1	0	0	5	1	3	18	
B 現時点で目標値に達成していないが、改善傾向にある	0	1	3	0	2	5	0	2	2	1	0	0	0	2	3	21	
C 変わらない	0	0	2	2	1	0	2	2	0	0	0	3	0	2	0	14	
D 悪化傾向	1	0	0	0	2	2	1	1	3	0	2	2	5	7	5	31	
E 悪化している	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
F 評価困難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (後日集計)	1 (結果把握不可)	0	
合計	1	2	5	3	5	8	5	5	9	2	3	5	10	12	11	86	
分野別改善状況 (A・Bの割合) [%]	0	2	3	0	2	6	2	2	6	2	0	0	5	3	6	39	
	0.0%	100.0%	60.0%	0.0%	40.0%	75.0%	40.0%	40.0%	66.6%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	54.5%	45.3%	

【まとめ】

計画全体：全項目（86項目）中、約半数の項目が達成または改善傾向となっている。逆に33項目は悪化傾向・悪化している状態である。

分野別：（達成・改善割合が高い）運動、喫煙、歯科、生活習慣病予防、地域医療、自殺対策

（達成・改善割合が低い）飲酒、こころ・休養、高齢者の健康、がん、ソーシャルキャピタル（つながり）、次世代の健康、食育推進分野

分野間で改善の差が生まれていること、地域のつながりが希薄化していること、将来を担う次世代の健康づくり部分の改善が難しいことから、市民の健康づくりの現状、社会情勢、これまでの取組内容・見せ方・連携方法等を振り返り、若い世代からの健康づくり・日常生活の中で多方面から効果的に市民へアプローチできる様、地域の新しい活力（企業、地域団体）との連携した健康づくりの推進を図っていく必要がある。